

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	高ヶ坂学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】町田市南大谷1260(町田第六小学校敷地内) 【開設年月】1969年 【開所日時】月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】延床面積137.11㎡ 【建物構造】軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】59名(2021年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-syakyo.or.jp/jigyo/j3-shokai.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	法人番号	2012305000201
指定管理者所在地	町田市原町田4-9-8		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
様々な体験活動を行う	通年	・オリンピック開催に伴い日頃の挨拶に週替わりで外国語を取り入れ、外国の異文化に触れた。 ・近隣で捕まえたカブト虫、オイカワを飼育し、卵から孵化させ成長過程を見守ったり、夏にはミニトマト、ゴーヤを栽培し収穫した。 ・新型コロナウイルス感染拡大により親子行事は中止となったが、子どもたちと「ミニ夏まつり」を企画し、感染症対策を取り実施した。また「交通安全教室」は警察署の方の紹介で動画視聴を行った。毎月のお誕生会は特定の1日だけでなく、毎月どこかの1週間をお誕生日ウィークとし、製作活動等をし、お休みが多い子もお祝いする事ができた。高齢者施設訪問・未就学児体験は昨年度に続き実施できなかったが、手作りの年賀状や手紙を送る事で直接対面以外の手段を使い、施設の方々と交流をした。
職員の質の向上を図る	通年	・職場研修計画に基づき、法人独自の研修に力を入れた。また「自己評価表」や「個人の課題への取り組み計画・評価表」を用いことで一人ひとりの意識が高まり個々の質の向上に繋がった。
安全管理に努める	通年	・新型コロナウイルス対策で、毎朝の検温・マスクの着用・手洗い・うがい・手指消毒・換気・施設の消毒を徹底した。更に三密にならぬよう環境を整えたり、おやつ時は、黙食の声掛けをし一方向を向いて食べるようにしたり、交代制にするなど対策に努めた。 ・法人内感染症部会では感染防止対策を検討し、法人内クラブで情報共有を行った。

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体満足度については95%以上、サービス・施設管理面については90%以上の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。指定管理者所見にも記載されているとおり、日頃から子どもの様子を個人面談、クラブだより、お迎え時等で伝えたり、保護者・子どもへ丁寧に寄り添う対応をしたことによりこの結果に繋がったと考えられる。 利用者満足度調査回収率は80%であり、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断できる。 研修の平均受講回数は10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。 その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、全体的に良好な運営を行っている判断し、総合評価を「A」とした。	

【評価対象年度 2021年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査の回収率を上げるため、入会説明会、個人面談時に協力をうながしたり、クラブのお便り、連絡帳、回収箱を活用し、お迎え時等に提出依頼を積極的に行った。また、日頃から子どもの様子を個人面談、クラブ日より、お迎え時等で伝えたり、保護者・子どもへ丁寧に寄り添う対応をしたことにより全体の満足度は97%と高評価を得ることができた。 ・月一回のまちも協議会へ参加することで学校や地域の方々と情報交換等を行い、密に連携を取り合い、子どもの見守りに関して協力し合い、関係の構築に務めた。 ・新型コロナウイルスの影響により、自主事業として行っていた子育て支援事業「高ヶ坂ほっとサロン」、お話し会、親子行事等外部とのイベントはほぼ中止となったが、近隣のデイサービス、保育園・幼稚園との交流においては、手紙を送るという形で交流を行った。デイサービスへは子どもたちが画用紙で年賀状を作り、職員が施設に届け交流を図った。年賀状は施設に展示され、多くの利用者の方々に見て頂き大変喜ばれた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子どもたちへの手洗い、うがい、マスクの着用、黙食等の指導、おもちゃや室内の消毒、パーテーション設置、換気等を徹底し保育を行った。また、法人内に感染症部会を立ち上げ、感染防止対策を検討し、法人内クラブで情報共有を行った。 ・コロナ禍でなおさら、子どもたちの遊びがデジタルなものがメインになり、現実的なものに触れたり自然の中で遊ぶ事が少なくなった。そのため、生き物に触れ成長を見守り、命を大切に育てる活動を積極的に支援した。日常の遊びでは自然に触れ遊んでいる様子をホームページ、Facebookで紹介した。近隣で捕獲したカブト虫・オイカワを飼育し、産卵、孵化を見守った。 ・「SDGs」の観点からおやつで出た空き箱・カップ等廃材を遊具として積極的に取り入れ、廃棄する際は、「普通ごみ」でなく、「プラスチックごみ」「紙ごみ」として出し、分別意識を子どもたちも身につけられるよう、「燃えないごみ」「再生紙入れ」の箱を作り、環境への意識づけをした。
-------------------------------	--

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	<p>【調査期間】2021年12月 【登録児童数】53名(調査月1日時点) 【配布枚数】46枚 【回答数】39枚 【回収率】84.8% 【調査方法】在籍児童の連絡帳等とおして配布、回収箱に投函・事務局へ郵送・連絡帳をおして提出</p>
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	94%	97.4%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	93	94	95	96	96
実績値	100.0	97.4			

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の6項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	94%	92.9%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	93	94	95	96	96
実績値	92.4	92.9			

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	11回	15.0回	A	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	11	11	11	11	11
実績値	11.0	15.0			

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	<p>利用者満足度において75%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は75%を超えており、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。</p>

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2021年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	「学童保育クラブ入会のおしおり」及び「児童ケース記録」等により、保護者・利用者への平等な取扱いを確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	「おたより」及び「ホームページのコピー」により、保護者への情報提供を状況を確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	「年間計画」及び「実施報告書」により、事業を適切に実施していることを確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	毎月「育成日誌」を、半期に1度「育成記録」を、各期日までに提出していた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	「安全衛生管理チェックシート」・「自主検査表」等により適切に点検を実施していることを確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	「町田市社会福祉協議会個人情報保護規程」等により、個人情報保護体制が整備されていることを確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	「町田市社会福祉協議会情報公開規程」により、情報公開体制が整備されていることを確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	「町田市社会福祉協議会苦情解決に関する規程」により、苦情対応の体制が構築されていることを確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	「学童保育クラブ防犯・防災マニュアル」等により、緊急時・災害時対応手順が整備されていることを確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	「育成日誌」により、火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	「救急処置マニュアル」等により、病気や事故に対する対応手順が整備されていることを確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	「育成日誌」及び「シフト表」により、適切に職員が配置されていたことを確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	「研修記録」により、年2回以上、職員研修を受講していたことを確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	「事業収支決算書」等により、関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	「事業報告書」等により、管理運営経費の削減に取り組んでいたこと確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	「事業報告書」等により、地元団体と連携した行事等を実施していたことを確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	「職員調査」等により、市民雇用、市内業者の利用に配慮していたことを確認した。	適

【評価対象年度 2021年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2022年1月13日に社会福祉法人町田市社会福祉協議会が管理する野津田学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2022年1月13日に社会福祉法人町田市社会福祉協議会が管理する野津田学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2020		2021		2022		2023		2024	
	予算	決算								
収入	指定管理料	26,467	24,710	30,065	26,891	19,845		20,083		20,377
	特別育成料	223	272	178	282	0		0		0
	雑収入	0	0	0	0	0		0		0
	寄附等	0	0	0	0	0		0		0
	計	26,690	24,982	30,243	27,173	19,845	0	20,083	0	20,377
支出	人件費	21,631	20,131	25,009	21,987	15,149		15,349		15,559
	管理費	657	621	625	516	440		440		440
	運営費	322	247	388	288	280		280		280
	精算する経費	1,213	429	1,200	706	1,700		1,700		1,700
	間接経費	2,867	2,401	3,021	2,753	2,276		2,314		2,398
計	26,690	23,829	30,243	26,250	19,845	0	20,083	0	20,377	
総計(収入-支出)	0	1,153	0	923	0	0	0	0	0	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業者の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	2.2	3.0			
負債比率	85.6	67.3			

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率、負債比率は適正な値であった。